

秩父三十四番		本尊	御詠歌	✓
一番	四萬部寺(妙音寺)	聖観世音菩薩	ありがたや 一卷ならぬ 法の花 数は四萬部の 寺のいにしえ	
二番	真福寺	聖観世音菩薩	廻り来て 頼みをかけし大圃の 誓も深き 谷川の水	
三番	常泉寺	聖観世音菩薩	補陀落は 岩本寺と おがむべし 峰の松風 ひびく滝つ瀬	
四番	金昌寺	十一観世音菩薩	あらたかに まいりておがむ 観世音 二世安楽と 誰もいのらん	
五番	語歌堂長興寺	准胝観世音菩薩	父母の めぐみも深き 語歌の堂 大慈大悲の ちかいたのもし	
六番	ト雲寺	聖観世音菩薩	初秋に 風吹きむすぶ 荻の堂 宿かりのよに 夢ぞさめける	
七番	法長寺	十一観世音菩薩	六道を かねてめぐりて おがむべし また後の世を きくもうしぶし	
八番	西善寺	十一観世音菩薩	ただ頼め 誠の時は 西善寺 来たり迎えん 弥陀の三尊	
九番	明智寺	如意輪観世音菩薩	めぐりきて その名をきけば 明智寺 こころの月は くもらざるらん	
十番	大慈寺	聖観世音菩薩	ひたすらに たのみをかけよ 大慈寺 六の巷の 苦にかわるべし	
十一番	常楽寺	十一観世音菩薩	つみとがも 消えよと祈る 坂ごおり 朝日はささで 夕日かがやく	
十二番	野坂寺	聖観世音菩薩	おいの身に くるしきものは 野坂でら いま思いしれ のちの世のみち	
十三番	慈眼寺	聖観世音菩薩	御手に持つ はちすのははき 残りなく 浮世のちりを はけの下でら	
十四番	今宮坊	聖観世音菩薩	昔より 立つとも知らぬ 今宮に まいるところは 浄土なるらん	
十五番	少林寺(蔵福寺)	十一観世音菩薩	みどりごの ははそのもりの 蔵福寺 ちちもろともに 誓いもらすな	
十六番	西光寺	千手観世音菩薩	西光寺 ちかいを人に たずぬれば ついのすみかは 西とこそきけ	
十七番	定林寺	十一観世音菩薩	あらましを 思い定めし 林寺 かねききあへず 夢ぞさめける	

十八番	神門寺	聖観世音菩薩	霧の海 たち重なるは 雲の波 たぐいあらじと わたる橋だて	
十九番	龍石寺	千手観世音菩薩	あめつちを 動かすほどの 龍石寺 まいる人には 利生あるべし	
二十番	岩之上堂	聖観世音菩薩	苔むしろ しきてもとまれ 岩の上 玉のうてなも くちはつる身を	
二十一番	観音寺	聖観世音菩薩	梓弓 いる矢の堂に もうできて ねがいし法に あたるうれしさ	
二十二番	童子堂	聖観世音菩薩	極楽を ここで見つけて わらうどう のちの世までも たのもしきかな	
二十三番	音楽寺	聖観世音菩薩	音楽の み声なりけり 小鹿坂の しらべにかよう 峰のまつかぜ	
二十四番	法泉寺	聖観世音菩薩	あまてらす 神のははその 色かえて なおもふりぬる 雪のしらやま	
二十五番	久昌寺	聖観世音菩薩	みどりごの ははそのもりの 蔵福寺 ちちもろともに 誓いもらすな	
二十六番	円融寺	聖観世音菩薩	たずねいり むすぶ清水の 岩井堂 心のあかを すすがぬはなし	
二十七番	大湫寺	聖観世音菩薩	夏山や しげきがもとの 露までも ころへだてぬ 月のかげもり	
二十八番	橋立堂	馬頭観世音菩薩	霧の海 たち重なるは 雲の波 たぐいあらじと わたる橋だて	
二十九番	長泉院	聖観世音菩薩	わけのぼり むすぶ笹の戸 おしひらき 仏をおがむ 身こそたのもし	
三十番	法雲寺	如意輪観世音菩薩	いつしんに 南無観音と となうれば 慈悲ふか谷の ちかいたのもし	
三十一番	観音院	聖観世音菩薩	みやま路を かきわけたずね ゆきみれば 鷺のいわやに ひびく滝つ瀬	
三十二番	法性寺	聖観世音菩薩	ねがわくは 般若の船に のりをえん いかなるつみも 浮かぶとぞきく	
三十三番	菊水寺	聖観世音菩薩	春や夏 冬もさかりの菊水寺 秋をながめに おくるとしつき	
三十四番	水潜寺	千手観世音菩薩	よろずよの 願いをここに 納めおく 苔の下より いずる水かな	